

ページ	質問議員	質問事項
10	青木久男	<ul style="list-style-type: none"> ●文化財（有形、無形）保護について ●技能功労者表彰制度について
11	毛塚真一	<ul style="list-style-type: none"> ●公園の維持管理について ●害虫対策について ●健康対策について ●防災対策について ●学校教育について ●環境対策について
11	奥田とみ子	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援から 妊娠・出産包括支援モデル事業を推進するには ●予防医療 がん対策の促進を図るには
12	大谷保雄	<ul style="list-style-type: none"> ●ニューシャトル関連事業について ●安心安全のまちづくりを
12	佐藤弘一	<ul style="list-style-type: none"> ●防災対策・カメラについて ●交通安全対策について
13	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣の市との連携強化を ●北部地区の施設の充実を ●伊奈町の消防について ●公園施設の充実を ●緑のトラストエリアの有効活用
13	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーについて ●予防医療の充実を ●磁気ループについて ●学校給食について ●広報等の配布体制について
14	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルメディア活用の成果と課題、今後の展開 ●障害福祉にかかわる計画と障害を持った人・子どもの福祉サービスの基盤整備 ●ゴミ処理広域化計画の検討状況と町としてのゴミ減量化の取り組み ●学校図書館関係の地方財政措置の活用状況と学校図書館法改正を受けて
14	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者育成支援推進法について ●寡婦控除「みなし適用」について ●幼児教育無償化について ●社会保障・税番号制度(マイナンバー)について
15	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生総合戦略の策定について ●地方人口ビジョンの策定について



10人が登壇

12月定例議会では10人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(2月下旬掲載)



倉庫に保管の文化財

町所有文化財の常設展示の考えは



あおき ひさお
青木久男 議員

問 町所有文化財にはどんなものがあるか。

答 資料館の展示資料や、西光寺の板碑、寄贈された美術工芸品、歴史資料、古文書、人間国宝の故田口氏の作品及び道具、発掘土器などがある。

問 各所にある文化財を集めた常設の展示場を設ける考えはないか。

答 郷土資料館の他、役場職員ホールに保存展示、板碑は現地、古文書は耐火書庫に、土器等は倉庫に保管している。故田口氏の作品は県立近代美術館に預けてある。

問 国や県では優れた技能を保持し、その継承に尽力した人を表彰する制度がある。町にもこのような制度が欲しい。技能者の励みになるし、卓越した技能は継承されるべきだ。派手でないが現場で地道な努力をしている各種技能者の功労をたたえることはよいことだ。

答 近隣市町の実施内容を伺いながら、来年度実施に向けて検討していく。

問 国や県では優れた技能を保持し、その継承に尽力した人を表彰する制度がある。町にもこのような制度が欲しい。技能者の励みになるし、卓越した技能は継承されるべきだ。派手でないが現場で地道な努力をしている各種技能者の功労をたたえることはよいことだ。

答 近隣市町の実施内容を伺いながら、来年度実施に向けて検討していく。

「日本ジュニア数学オリンピック」に
チャレンジ



毛塚眞一 議員

問 生徒・児童が「不思議だな」と思ったり、「難問にチャレンジ」する数学コンテストについて。

答 伊奈町教育センターにおいて、思考力を必要とする問題を解き、考える楽しさを感じながら、算数・数学的な内容を含

む教科横断的な課題を扱い、数理的な思考のよさを感じられる問題を解いてもらう「思考力チャレンジ教室」を実施している。

問 多機能トイレの被害防止対策について。

答 利用者が安全に、気持ちよく利用していただ



器物損壊の被害をうけた多機能トイレ

けるよう、職員による日常点検を行っている。地区の防犯パトロールのご協力を頂き、頻発するいたずらの抑止を図りながらモラル向上の啓発に努める。

問 衛生害虫対策について。

答 雑草の繁茂による虫の発生やスズメバチの営巣の相談があり、草木の伸びる時期を前に広く広報で呼びかけるほか、土地の管理者に対し雑草等の除去について通知を行っている。

問 味覚テストについて。

答 児童生徒の望ましい食習慣の形成を図るため、小児生活習慣病予防や食育に一層工夫改善の指導をする。

子育て支援、妊娠・出産
包括支援事業の推進



奥田とみ子 議員

問 包括的支援に取り組むべき課題は。

答 人員配置や財政上の課題はあるが、妊産婦により効果的な支援を実施していく。

問 少子化対策、安心して結婚・出産・子育てできる環境整備とは。

答 安全な出産・育児の

不安解消の支援が重要。妊婦検診の助成、母親・両親学級の実施、全出生児に赤ちゃん訪問を実施、不妊の悩みには、県の制度を紹介。検診に來ない家庭にも対応している。今後とも近隣の状況を参考に環境整備していく。



妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援をおねがいします

予防医療、がん対策の促進を図る

問 女性のがん罹患数では、乳がんがトップ。20〜30歳代の罹患率が高くなっている。検診を30歳からにすることは。

答 30歳代の検診は、有効性より不利益が多い。厚生労働省の指針に基づき、40歳からにしている。

胃がん予防、ペプシノゲン検査の拡充

問 血液検査で胃がんになるリスクがわかる。体に負担が少なく、大変好評。実施期間や対象年齢の拡充を図るべき。

答 町医師会と協議し決定した。今後、同様に実施するが、普及されれば検討していく。

伊奈中央駅、志久駅に
エレベーター設置を



おたにやすお
大谷保雄 議員

問 二駅エレベーター設置は。

答 伊奈中央、志久駅については順次設置を計画する。両駅は、新幹線側道のため問題がある。利用者の利便を考え、駅周辺の環境整備を含め、早

く設置するよう努める。

問 運賃改正、定期代値下げは。

答 累積損失は解消したが、今後の経営見込みや設備投資計画を考慮すると、運賃改正、定期代値下げは、現時点では困難。



羽貫駅エレベーター設置工事

問 最終便内宿駅延長は。

答 丸山車両基地に戻すため又夜間作業や路線の作業確保のため、内宿駅までの延長は困難、今後引き続き強く要望する。

問 障害者の割引は。

答 障害者の割引はJRと同等、精神障害者手帳所持者も割引の対象となるよう引き続き要望する。

安心安全なまちづくり

問 防犯のために一戸一灯運動を。

答 安心安全なまちづくりを進める上で、地域の連携が必要。自宅の門灯や玄関灯を終夜点灯することで、自宅の防犯対策や地域の犯罪の発生予防になる。皆様のご理解、ご協力を呼びかける。

防犯対策と交通安全対策
充実について



さとうこういち
佐藤弘一 議員

問 防犯対策の一つとして、防犯カメラを公共施設以外にも設置すべきと思うが。

答 現在、上尾市で5か所あるほか、近隣状況については把握してない。

今後コンビニエンスストアなどにも協力を願いたい、町としても、他市町村の例を参考にしながら、慎重に考えていく。

問 交通安全対策について、横断歩道や「止まれ」

その他表示について、どのような流れになっていくのか、設置が遅れているのはなぜか。

答 横断歩道、一時停止等の交通規制に関する表示については、規制権者である警察が行うこととなっており、住民からの指摘のあった箇所については、その都度、上尾警察に要望している。著しく危険な場所については、緊急の補修が必須な場合や、町所管の道路外側線や注意喚起標記の修繕と一体的に補修する必要がある場合、警察と協議の上、町が修繕を行うこともある。今後町として遅れているところについても上尾警察と進めていく。



カーブで黄色のセンターラインが見えにくい

近隣市との連携強化を



うえの なおのり
上野尚徳 議員

問 産業発展、利便性、安全向上の為、近隣市と連携した町境の道路整備を。又、延伸後の第2産業道路に接続する計画を。

答 県、近隣市と一層の調整をしながら進めたい。
問 町境の道路で整備を進めている道路は。

答 北部地域の施設の整備を
問 北部地域の一万人を超える範囲が消防限界エリア外。分署の設置は。重要課題と認識。消



公共施設の相互利用の促進を

防広域化の協議の中で十分に研究検討していく。

公園施設の充実を

問 心身の健康を維持増進できる健康増進公園を。
答 施設の改修の際に、地域の状況、ニーズに応じた整備を進めたい。

問 子どもの心身発達や創造性等を身につける遊び場としての公園施設を。
答 既存公園の施設の拡充等、研究していきたい。

問 ニューシャトルの車両を休憩所、遊具、店舗等に利用した公園整備を。
答 公園の目玉となり、利用者の利便性向上にもなり有効。研究していく。

無線山の自然の体感
問 志久駅から桜並木まで、森の中をぬける遊歩道を整備できないか。
答 樹林地を散策でき、駅前から容易にアクセスが可能となる。整備への取り組みを進めたい。

再生可能エネルギー
太陽光発電の充実を



みずかみくに お
水上邦雄 議員

問 公の施設への設置計画推進を。

答 町有財産の有効活用として重要と考えるが、耐震補強や老朽化対策等で設置できる状況にない。
問 災害時の避難誘導灯に設置を。
答 大規模停電時の電源

確保は重要だが、費用が通常の10倍近くで難しい。

防犯灯へのLED照明について

問 節電効果は。
答 電気料約40%400万円の削減が見込まれる。
問 今後の設置計画は。

答 防犯灯新規設置と既存防犯灯器具の不具合時に、LEDに変えていく。

磁気ループについて

問 町購入器具の活用拡大を。
答 会議、研修会、講演会等での利用を検討している。

消費税増税による学校給食への影響について

問 メニューへの対応は。
答 ヨーグルト飲料などの人気の高い物の提供を調整。給食費の改定で提供できるような努めていく。
問 給食費値上げによる困難家庭への対応は。
答 関係課と調整を行っている。学校でも随時相談が受けられるよう配慮している。



小室地区にある民間の太陽光発電施設

専任・専門・正規の学校司書を全校に



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

学校図書館の財政措置

問 活用状況は。
答 12年度は小中合わせて2913冊、13年度は2148冊の図書を購入した。今年度から全校に学校図書館支援員を配置した。

ソーシャルメディア活用

問 フェイスブックページの成果は。
答 素早く町の情報を届けることができる。
問 プロフィール写真にローズちゃん、ローズ君を。



来年度開設予定の福祉事業所

答 さらに観光協会のツイッターで使っている。

問 ツイッターの活用を。

答 情報量が少なく、現在は考えていない。

障害者福祉の施設・サービスの基盤整備

問 今後、町内で特に必要とされる施設・サービスは。
答 障害者を持つ保護者の高齢化や死別後を考えるとグループホームがほしいという意見が多い。参入意向を示す事業者には積極的に関与したい。

問 来年度以降整備される事業所は。
答 就労継続支援B型が1か所、児童発達支援と放課後等デイサービス1か所が来年度事業開始予定。

子ども・若者育成支援推進法について



うえの こくや
上野 克也 議員

問 同法が施行され「子ども・若者総合相談センター」の設置が提案された。町の支援体制、および総合的な窓口の設置は。

答 現在、複数の課で連携を図り対応している。一つの窓口で全て解決することは困難と考え、引き続き各課と連携を密に對

応していく。

寡婦控除「みなし適用」

問 未婚・非婚の一人親は寡婦とみなされず所得控除が受けられない。
答 今後、寡婦控除の「みなし」適用は近隣市の実施状況を照らし合わせ検討していく。



通学中の子どもたち

問 幼児教育無償化について。

答 同一世帯で未就学児童が2人以上同時に保育所又は幼稚園等を利用する場合、第2子は半額、第3子以降は無料。また、幼稚園就園奨励費補助金を交付している。今後、国の政策を注視していく。

マイナンバー制度

問 平成27年10月から番号の付番と通知、翌年1月からカードの交付と利用が開始となる。町の準備および自治体独自の活用方法は。
答 条例等の制定・改正の調査など準備を進めている。今後、独自の活用方法は利便性など見極め検討していきたい。

まち・ひと・しごと創生法と町の取り組み



むらやままさひろ
村山正弘 議員

地方創生総合戦略の策定

問 11月の衆議院解散日に重要法として「地方創生2法」が成立した。「まち・ひと・しごと創生法」と「改正地域再生法」の内、「まち・ひと・しごと創生法」への町政対応について質問する。

一、5カ年計画の策定

法は、27年度内に策定を求めるとしているが、町の取り組みはどうか。

また、新総合振興計画との関係はどうか。
更に、国、県の補助金対策事業から、町政は補助金獲得施策事業への取

り組みをすべきだ。

二、地方人口ビジョンの策定

新法では、総合戦略に併わせて、地方人口ビジョン策定が制定された。合計特殊出生率1.8にむけて、子育てをしやすい環境の整備が求められる。多世代同居住宅の普及補助、医療費、養育費の補助拡大の見解を問う。

答 現状では、国の総合戦略が示されていない。町の「人口ビジョン」

「総合戦略」は国、県の取りまとめを待ち対応する。国、県の動向に注視し、情報収集に努める。



町役場庁舎

常任委員会視察報告

文教民生常任委員会

健康づくり・医療費削減の取り組み

視察地

福島県

伊達市・会津若松市

視察日

平成26年

10月7日・8日

伊達市の調査概要

「健康伊達21計画」を

策定。基本計画は、生活習慣病予防の推進、気軽に身体活動・運動が出来る環境づくり、栄養と食生活の充実と歯の健康維持、心の健康と休養を大切にできる環境づくり、放射能リスクのもとでの健康管理を上げている。

会津若松市の調査概要

特に、健康づくり施策の要点は、生活習慣病予防から介護予防まで、一体的・連続的な施策を講じていることである。

地域住民の健康増進と医療費の抑制として「フイールド・イノベーション」を導入。保健業務の改善、保健師の業務プロセス改革、特定保健指導率向上、医療費削減による市の財政改善などに多くの成果を上げ、特筆すべきは、保健指導率の大幅改善により、年間医療費を前年度比3500万の削減が見込まれること。地方自治体の財政は悪化の一途をたどる中、社会保障費の高騰は大きなうねりとなり押し寄せている。健康づくり・医療費削減に向けた施策の重要性を強く認識し、視察調査を終了した。



伊達市「健康づくり施設」内で



会津若松市 市職員より「医療費削減等の取り組みについて」説明を受ける